

ふるさと協議会について

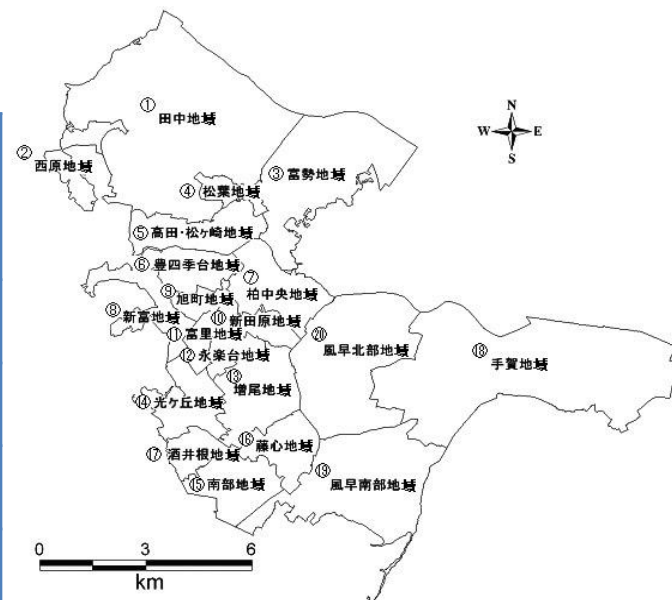
ふるさと協議会とは(再掲)

ふるさと協議会は、昭和55年に設立され、地域の身近な近隣センターを活動拠点として、行政と共にふるさと運動の推進及びコミュニティの育成を行う団体として各地域に設立された組織に端を発しています。

各協議会は、町会等の役員のほか、民生委員・児童委員など多様な構成員からなる組織です。

町会等の枠を越えた地域コミュニティづくりの中心的な担い手として、広報紙の発行、夏祭り・文化祭の開催、環境・保健福祉・防災など地域課題との取組など多岐にわたった事業と取り組んでいます。

地域	活動事例
高田・松ヶ崎地域	防災推進連絡協議会
富勢地域	八朔相撲・こども食堂
新富地域	新富げんきなひろば
豊四季台地域	東大との地域包括ケア
手賀地域	エコ・ウォ〜クin手賀



ふるさと協議会と町会(再掲)

各地域の活動者から成る「ふるさと協議会」と町会の大きく分けて2種類の自治組織が存在しています。

1組織

ふるさと協議会
連合会

20組織(地域)

ふるさと協議会

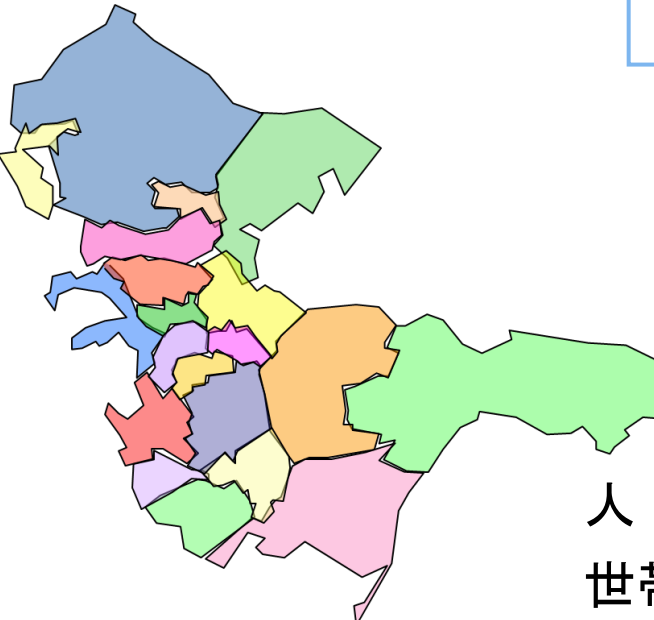
ふるさと協議会

296組織

町会

自治会

区



人口: 422,385 人
世帯数: 183,893 世帯

町会等加入: 124,326 世帯
加入率: 67.61%

ふるさと協議会の役割(再掲)

～町会の枠を超えた地域コミュニティづくりの担い手～



地域に合った活動
を検討したい



ボランティア活動者



他の町会とも意見
交換したいな



町会防災担当者⁴

ふるさと協議会が考える「ふるさと協議会」

田中地域ふるさと協議会

地域の人々が連携して活動することで、住み良い地域社会を作るための組織です。町会・自治会長のほか、子供会、老人会、民生委員、健康づくり推進員、青少年育成団体などで構成されています。それらの方々の意見等が地域づくりに反映されております。そして、「環境美化活動」「たなかつ子祭」「視察研修」「市民運動会」「凧あげ大会」「会報誌の発行」などの地域活動を実施し、「住み良い地域づくり」を推進しています。

柏市高田・松ヶ崎地域ふるさと協議会

地域の皆様とコミュニケーションを図りながら、街づくりを行ってゆく組織です。町会・自治会長のほか、子供会、老人会、民生委員、健康づくり推進員、青少年育成団体などで構成され、「各種団体間の調整」、「住みよい地域づくり」、「防災・安全」、「生涯学習・文化活動」、「体育活動」、「生活環境の向上」、「地域福祉の増進」等を事業として、「安心・希望・支え合い」の地域づくりを推進していきます。

ふるさと協議会が考える「ふるさと協議会」

柏市増尾地域ふるさと協議会

地域住民が協力し合いながら、住みよい地域社会を作ることを中心に活動している組織。

活動として、子供からお年寄りまでがに活動する「サロンつちのこ」・「サロンますのこ」や高齢者のつどいの場として「コミュニティのこのこ」など交流の場の立ち上げ。

高齢者のお困りごとをお手伝いする支え合い活動を多くのボランティアに支えられ活動している。

また、災害を想定した避難所開設や災害医療の講座を設けるなど活動している。

柏市藤心地域ふるさと協議会

住民自治による相互交流で、「こころ豊かなふるさとづくり！」を目指し近隣センターエリア内にある町会・自治会の連合体とボランティア団体など各種協力団体で構成する組織。

ふるさと協議会が考える「ふるさと協議会」

柏市南部地域ふるさと協議会

町会等の枠を越えた地域のコミュニティづくりの中心的な担い手として、広報誌の発行や夏祭り、市民運動会、文化祭、ふれあいの集いなど各種の事業を展開しているだけでなく環境・保健福祉・防災、文化など多岐にわたり、地域住民の交流や各般の行政協力を行っている団体です。

柏市新田原地域ふるさと協議会

心のふれ合ういきいきとした住みよいまちづくりを市民と行政が一体となって進め

る「ふるさと運動」推進組織。

若さと熟年の連携/出来る人が出来る時に出来ることから/楽しくをキーワードに。活動として、「住みよい地域づくり」・「防災・安全」・「文化活動」・「体育活動」・「生活環境の向上」「地域福祉の増進」等を事業として、「安心希望支え合い」のまちづくりの中心的担い手として活動。高齢化がさらに進む一方子育て支援も大きな課題となっている。出来ることをしてお互いが地域を守っていく姿勢がますます必要で支え合い体制をいかに作れるかにかかっている。